デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HSC-S1	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
（ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には P111 のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または P111 のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

S1-08091

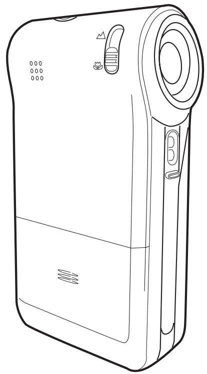
取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ（ムービータイプ）

HSC-S1

このたびは、デジタルカメラHSC-S1型をお求めいただき、
まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。



I.mega

目次

はじめに 4

基本操作編 21

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

応用操作編 55

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

パソコン接続編 87

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

付録 97

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。
🚫 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗ このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
⚠ このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警　告

アルカリ電池に注意する。
アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。
乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ムービーライト部分が破損した場合は、内部には触れない。
内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ムービーライトを人の目に近づけて発光しない。
目の近くでムービーライトを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。
イヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ムービーライトの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または関連のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- Microsoft及びWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- その他記載された社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

大切な撮影の前には必ずためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、**単3形マンガン乾電池は使用できません。使用できる電池** P23
万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSB-PC接続ケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスクなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

音量の設定で操作音を出すことができます。**音量の設定** P33

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、全表示画素のうち、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

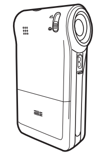
SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）では2GBまで、SDHCカード（別売）は4GBまで使用できます。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
  ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**P56 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする**P56 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスクなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

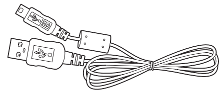
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

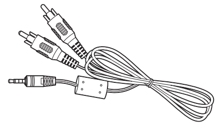
・カメラ本体・



・専用USB-PC接続ケーブル



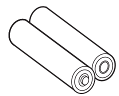
・専用テレビ／AV接続ケーブル



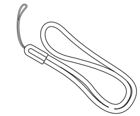
・取扱説明書（本書）



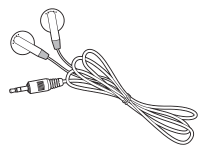
・単3形アルカリ乾電池（2本）



・ストラップ



・イヤホン



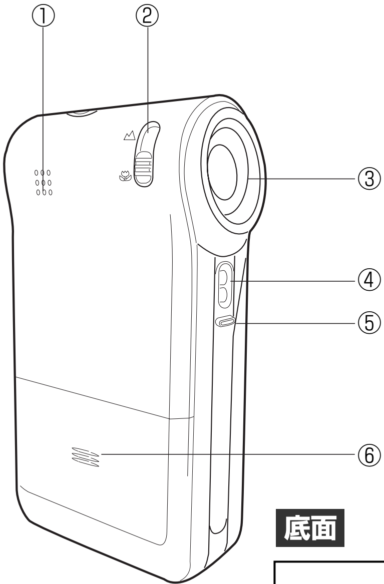
・ポーチ



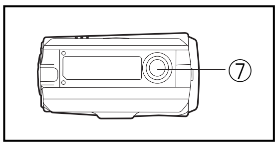
■ 各部の名称

正面

①スピーカー
②フォーカススイッチ
　▲ 通常
　近接
③レンズ
④LEDムービーライト
⑤マイク
⑥電池カバー
⑦三脚取付用ネジ穴

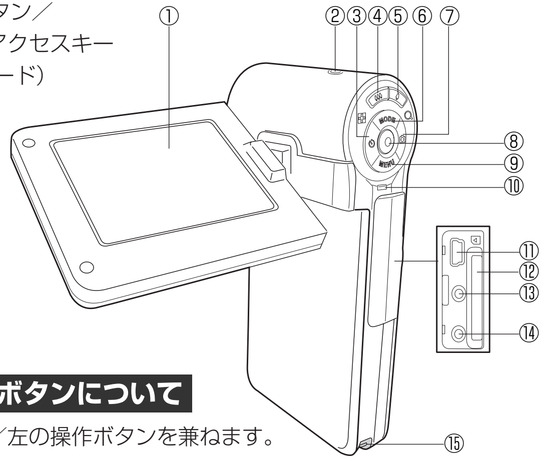


底面



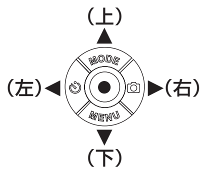
背面

①液晶モニター
②電源ボタン
③◀（左）ボタン／
　セルフタイマーボタン
④ズームアウトボタン／
　サムネールボタン
⑤ ズームインボタン
⑥▲（上）ボタン／
　モード切換ボタン
⑦▶（右）ボタン／
　クイックアクセスキー
　（静止画モード）
⑧ OK／シャッターボタン
⑨▼（下）ボタン／
　メニューボタン
⑩LEDランプ
⑪USB接続端子
⑫SDメモリーカードスロット
⑬AV出力端子
⑭イヤホン接続端子
⑮ストラップ取付穴

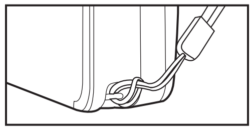


背面中央ボタンについて

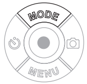
上／下、右／左の操作ボタンを兼ねます。



ストラップの取付け方



モード切換ボタン



動画撮影モード／静止画撮影モード／再生モードへ切り替える場合に押してください。

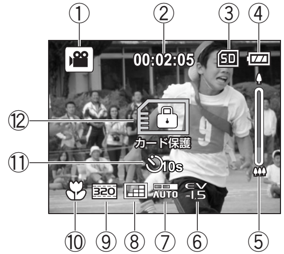
〈動画撮影モード〉 〈静止画撮影モード〉 〈再生モード〉



各モードで表示させせるメニュー及び設定項目についてはメニューと設定項目 **P106** をご覧ください。

■ 液晶モニターの表示

動画撮影モード時　**動画を撮る** **P35**



①動画モードアイコン

②撮影可能時間（動画）**P109**

③メモリー **P25**

- 内蔵メモリー（SDメモリーカード非装着）
- SDメモリーカード装着中

④電池残量 **P24**

- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑤ズーム倍率 **P43**

⑥露出補正 **P75**

⑦ホワイトバランス **P73**

- オート
- 太陽光
- 白熱灯
- 蛍光灯1
- 蛍光灯2
- 曇り

⑧画質 **P69**

- ファイン
- 標準
- エコノミー

⑨動画サイズ **P69**

- 720×480
- 640×480
- 320×240

⑩フォーカスモード **P42**

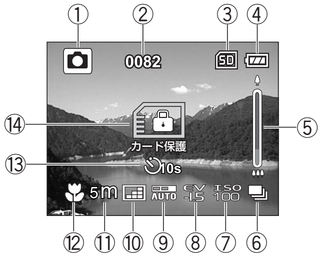
- ［表示なし］通常
- 近接撮影

⑪セルフタイマー **P77**

- 2s　2秒
- 10s　10秒

⑫カード保護 **P26**

静止画撮影モード時　静止画を撮る P38



①静止画モードアイコン
②撮影可能枚数 P109
③メモリー P25
- 内蔵メモリー（SDメモリーカード非装着）
- SDメモリーカード装着中

④電池残量 P24
- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑤ズーム倍率 P43
⑥連写モードアイコン P79
- ［表示なし］通常
- 連写
- AE連写

⑦ISO感度 P78
- オート
- ISO50
- ISO100
- ISO200
- ISO400
- ISO800

⑧露出補正 P75
⑨ホワイトバランス P73
- オート
- 太陽光
- 白熱灯
- 蛍光灯1
- 蛍光灯2
- 曇り

⑩画質 P69
- ファイン
- 標準
- エコノミー

⑪静止画サイズ P69
- 5m　2560×1920
- 3m　2048×1536
- 1m　1280×960
- 0.3m　640×480

⑫フォーカスモード P42
- ［表示なし］通常
- 近接撮影

⑬セルフタイマー P77
- 2s　2秒
- 10s　10秒

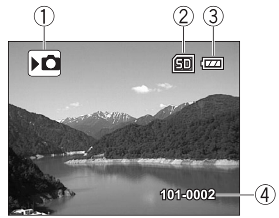
⑭カード保護 P26

再生モード時（動画）　動画を見る P44



①動画再生モードアイコン
②経過時間
③メモリー
④電池残量
⑤フォルダ／ファイル番号
⑥音量
⑦再生インジケータ

再生モード時（静止画）　静止画を見る P46



①静止画再生モードアイコン
②メモリー
③電池残量
④フォルダ／ファイル番号

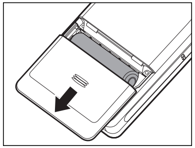
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

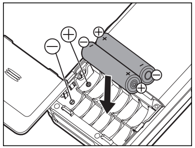
■ 電池を入れる

1



電池カバーを矢印の方向へ
スライドさせて開きます。

2



電池の＋側－側を確認し、
単3形アルカリ乾電池2本を
正しい方向で装着します。

3 電池カバーを閉めます。

- 電池の交換は電源をオフ P27 にして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示** P24 をご覧ください。

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P109 ）は、約250枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単3形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。
- オキシライド乾電池を使用することは可能ですが、電池残量の表示など正しく表示できない場合があります。

電池残量の表示

電池の残量は十分です。

電池の残量が少なくなっています。

まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、フォーマットする P56 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P109 にてご確認ください。

■ SDメモリーカードを入れる

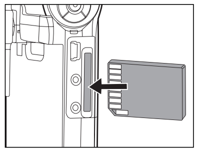
SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（SDカードは2GBまで、SDHCカードは4GBまで対応）

- **撮影可能時間・枚数の目安については、画像記録時間・枚数 P109 をご覧ください。**

- 新しいSDメモリーカードや、他のカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）** P56 してから使用してください。
- SDメモリーカードを使用するときは、SDメモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。

SDメモリーカードはカメラ背面にあるSDメモリーカードスロットに装着します。

1 カメラ背面のカバーを開きます。

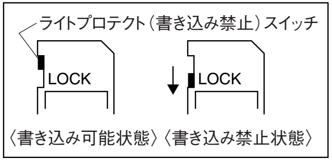
2 

挿入する方向を確認してから、SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
（SDメモリーカードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します）

3 カバーを閉めます。

SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源がオンの状態でSDメモリーカードを取り出すと、SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について



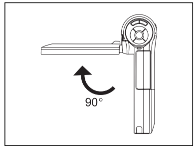
SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると、通常の撮影や削除ができません。
撮影モードでは、「カード保護」と表示され撮影できません。他のモードでは、［削除］や［フォーマット］などの選択ができない項目があります。

例〈静止画撮影時〉



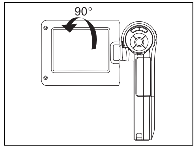
■ 電源のオン／オフ

1



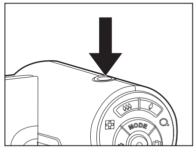
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

3



電源をオンにするには、電源ボタンを押します。
電源をオフにするには、再度電源ボタンを押します。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートパワーオフ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［5分］P62）と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源ボタンを押して電源をオンにしてください。

- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P82 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。
- 動画と静止画のオートパワーオフの時間は同じになります。

LEDランプの表示

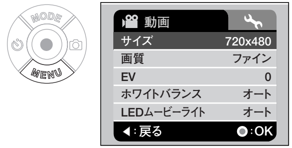
状　態	説　明
緑色の点灯	カメラの電源がオンしています。
	撮影準備ができています。
緑色の点滅	USBでデータを転送中です。
	ファイルの読み込み中または保存中です。

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買い上げ時の設定は［50Hz］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

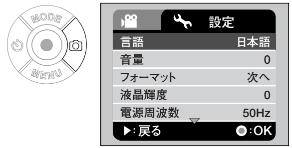
1



動画撮影／静止画撮影／▶▶再生モードからメニューボタンを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］［再生］メニューが表示されます。

2



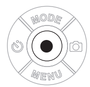
【▶】右ボタンを押します。

［設定］メニューが表示されます。

3

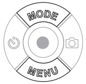


【▲】【▼】で［電源周波数］を選び、



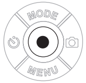
OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で［50Hz］／［60Hz］を選び、



OKボタンを押します。

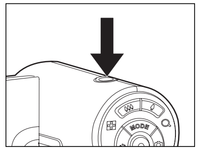
［設定］メニューに戻ります。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約24時間バックアップされますが、電池の使用時間によっては、リセットされる場合があります。**
- **ここで設定した日付／時刻、表示形式は、電源をオフにした後や初期設定に戻す P58 操作を行っても保持されます。**

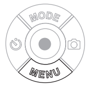
1

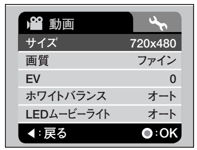


電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

2

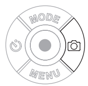




動画撮影／静止画撮影／▶動画 ▶静止画 再生モードからメニューボタンを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］［再生］メニューが表示されます。

3

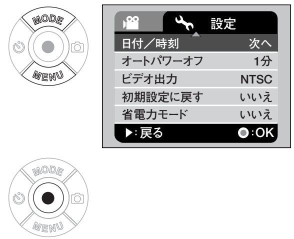




【▶】右ボタンを押します。

［設定］メニューが表示されます。

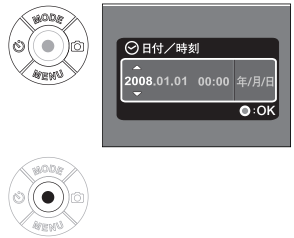
4



【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、

OKボタンを押します。

5



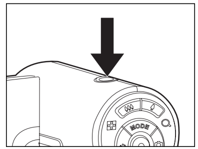
【◀】【▶】で年／月／日／時／分の項目を移動し、【▲】【▼】で数値を調整し、

OKボタンを押します。

［設定］メニューに戻ります。

■ 音量の設定をする

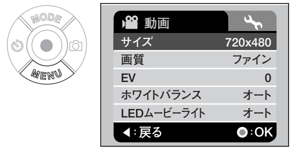
1



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

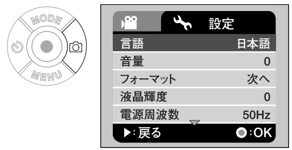
2



動画撮影／静止画撮影／▶動画▶静止画再生モードからメニューボタンを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］［再生］メニューが表示されます。

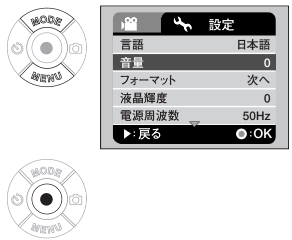
3



【▶】右ボタンを押します。

［設定］メニューが表示されます。

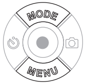
4



【▲】【▼】で［音量］を選び、

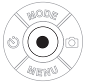
OKボタンを押します。

5





【▲】【▼】で0～5を選び、



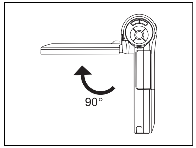
OKボタンを押します。

[設定]メニューに戻ります。

動画／静止画を撮る

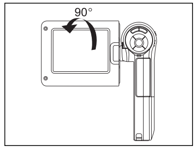
■ 動画を撮る

1



液晶モニタを外側に開きます。

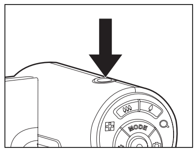
2



液晶モニタを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

- 液晶モニターが完全に開いていることを確認してから、角度を調整してください。
- 液晶モニターは正しい方向に回転してください。
  無理な方向に力を入れて動かすと、破損する恐れがあります。
- 液晶モニターを回転する際は、液晶部分に触れないでください。
- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

3



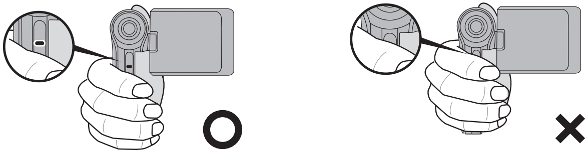
電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

初期設定値は動画モードです。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

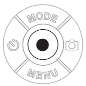
ご注意

カメラは本体下側を持ち、指でレンズ・LEDムービーライト・マイクを隠さないようにご注意ください。



4





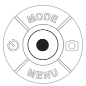
液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。

OK／シャッターボタンを押し、撮影を開始します。

5

録画中マーク



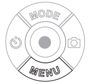


撮影中は赤の録画中マークが点滅します。

一時停止したいときは、OKボタンを押してください。

6





撮影をやめたいときは【▼】下ボタンを押してください。

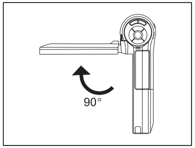
動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	720×480／640×480／320×240ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	ASF（MPEG4、音声あり）
フレームレート	約25フレーム/秒
記録時間	SDメモリーカード1GB（別売）時：28分38秒（720×480ピクセル／ファイン画質の場合）

記録時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

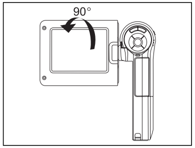
■ 静止画を撮る

1



液晶モニターを外側に開きます。

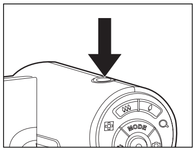
2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

- 液晶モニターが完全に開いていることを確認してから、角度を調整してください。
- 液晶モニターは正しい方向に回転してください。
  無理な方向に力を入れて動かすと、破損する恐れがあります。
- 液晶モニターを回転する際は、液晶部分に触れないでください。
- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

3

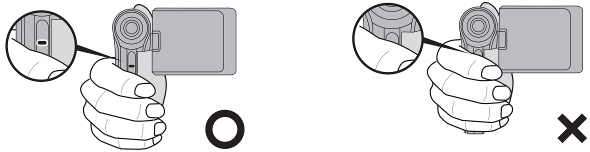


電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

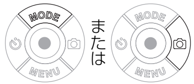
ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

ご注意

カメラは本体下側を持ち、指でレンズ・LEDムービーライト・マイクを隠さないようにご注意ください。



4

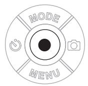


モード切換ボタン、または📷ボタンで静止画モードに切り替えます。

5



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。

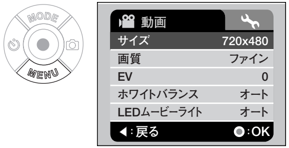


OK／シャッターボタンを押して撮影します。

■ LEDムービーライトを使う

撮影状況、目的に応じてムービーライトの設定を選んでください。

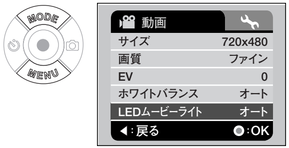
1



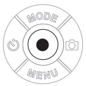
動画撮影／静止画撮影モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]メニューが表示されます。

2

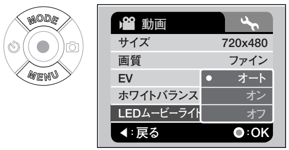


【▲】【▼】で [LEDムービーライト] を選び、



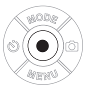
OKボタンを押します。

3



【▲】【▼】で [オート]／[オン]／[オフ] を選び、

静止画撮影モードでは[オート]の設定はできません。



OKボタンを押します。

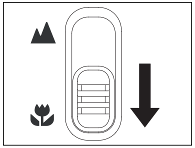
モード	設定内容
オート 初期設定	撮影中にLEDムービーライトが点灯し、撮影が終了するとLEDムービーライトは消灯します。
オン	カメラの使用中常にLEDムービーライトが点灯します。
オフ	LEDムービーライトは点灯しません。

- **ここで選んだムービーライトモードは、電源をオフにしたり、初期設定に戻す** P58 **操作を行うとオートモードに戻ります。**
- **オートモードは、周りの明るさに連動しているものではありません。**
- **静止画モードの場合は、オートモードはありません。**

■ 近接撮影をする

フォーカススイッチで ▲「標準」または ✿「近接モード」を切り替えます。

1



フォーカススイッチを✿（近接モード）に切り替えます。

2



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。

モード	説　明
▲ 通常	風景や通常撮影に適しています。 焦点距離：約1.0m～
✿ 近接モード	近距離の撮影に適しています。 焦点距離：約60cm～100cm

■ ズーム撮影をする

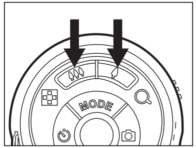
被写体をズーム倍率8倍（デジタルズーム）で拡大して撮影できます。

1



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。

2





ズームインジケーター

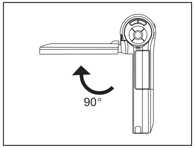
ズームインボタンを押すとズームイン（拡大）、ズームアウトボタンを押すとズームアウト（縮小）します。

拡大率は液晶モニターのズームインジケーターに表示されます。

- **デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。**
- **ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、再度電源を入れ直すと、ズームなし（標準）に戻ります。**
- **デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできませんので、ご注意ください。**

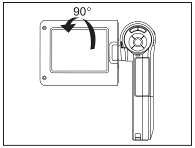
動画を見る

1



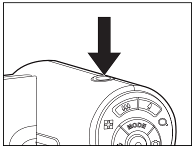
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

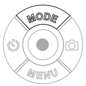
3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

4

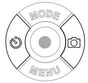




モード切換ボタンを押して 再生モードに切り替えます。

最後に撮影した動画ファイルまたは静止画ファイルが液晶モニターに表示されます。

5

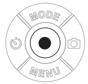




【◀】【▶】で再生する動画ファイルを選びます。

動画ファイルには 動画再生モードアイコンが、静止画ファイルには 静止画再生モードアイコンが表示されます。

6





OKボタンを押すと、再生を開始します。
（動画ファイルの場合のみ）

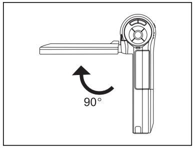
動画再生中に、再度OKボタンを押すと、再生を一時停止します。再度、OKボタンを押すと、再生を再開します。

動画再生中の液晶モニターの表示について

動画再生開始後、 モードボタンを押すと液晶モニターの表示（再生インジケーター等）をOFFにすることができます。

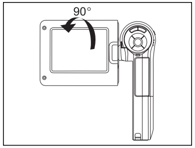
静止画を見る

1



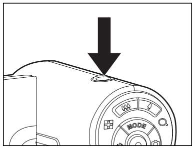
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

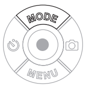
3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

4

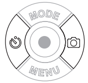


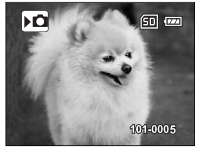


モード切換ボタンを押して 再生モードに切り替えます。

最後に撮影した動画ファイルまたは静止画ファイルが液晶モニターに表示されます。

5



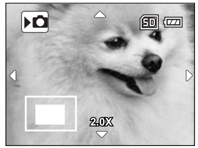


【◀】【▶】で再生する静止画ファイルを選びます。

動画ファイルには 動画再生モードアイコンが、静止画ファイルには 静止画再生モードアイコンが表示されます。

6

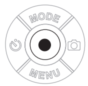




ズームインボタンを押すと、静止画を8倍まで拡大表示することができます。

液晶モニターに拡大率が表示されます。

また、【▲】／【▼】／【◀】／【▶】で、拡大範囲を移動することができます。

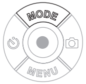


OKボタンを押すと、元の画面に戻ります。

サムネイル表示(インデックス表示)で見る

一枚表示の他に6分割のサムネイル表示に切り替えることができます。画像を一度に6枚ずつ見られるため、見たい画像を素早く探すことができます。

1





モード切換ボタンを押して再生モードに切り替えます。

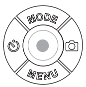
最後に撮影した動画ファイルまたは静止画ファイルが液晶モニターに表示されます。

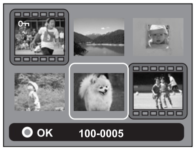
2



ズームアウトボタンを押すと、サムネイル表示になります。

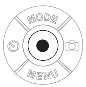
3





【▲】【▼】【◀】【▶】で黄色の枠を移動して再生したいファイルを選びます。

4



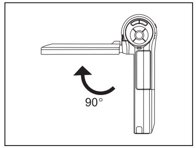


OKボタンを押すと、一枚の全面表示になります。

画像を削除する

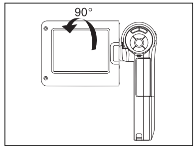
一度削除してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。
削除を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を削除する場合は、すべての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

1



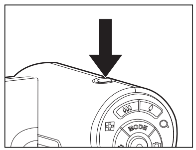
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

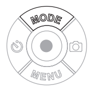
3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

4





モード切換ボタンを押して再生モードに切り替えます。

5

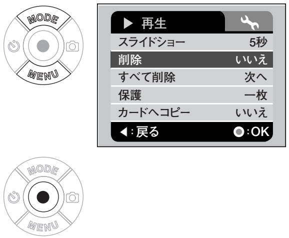


【◀】【▶】で削除するファイルを選び、

メニューボタンを押します。

[再生] メニューが表示されます。

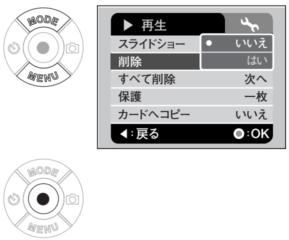
6



【▲】【▼】で [削除] を選び、

OKボタンを押します。

7



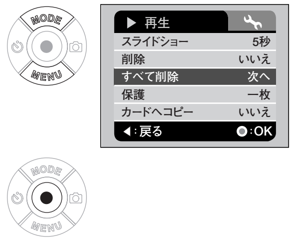
【▲】【▼】で [はい] を選び、

OKボタンを押します。

選んだファイルが削除されます。

すべてのファイルを削除したいときは

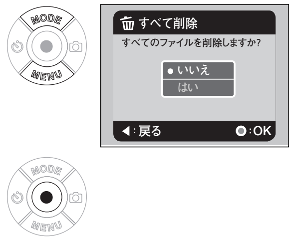
1



【▲】【▼】で [すべて削除] を選び、

OKボタンを押します。

2



【▲】【▼】で [はい] を選び、

OKボタンを押します。

すべてのファイルが削除されます。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のテレビ／AV接続ケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

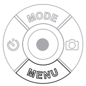
テレビと接続する前に

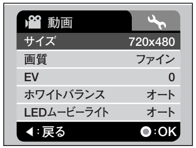
テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

ビデオ出力のお買い上げ時の設定は [NTSC] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

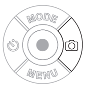
1





動画撮影／静止画撮影／再生モードからメニューボタンを押します。
[動画撮影]／[静止画撮影][再生]メニューが表示されます。

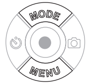
2





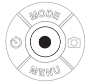
【▶】右ボタンを押します。
[設定]メニューが表示されます。

3



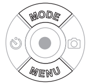


【▲】【▼】で [ビデオ出力] を選び、



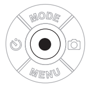
OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で [NTSC]／[PAL]を選び、



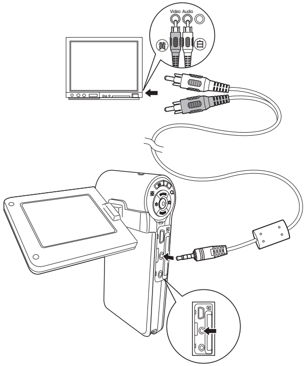
OKボタンを押します。
[設定]メニューに戻ります。

ここで選んだビデオ出力は、電源をオフにした後も保持されます。

1 カメラとテレビの電源を入れ、**テレビと接続する前に** P52 に従って、テレビの方式を確認します。

2 付属のテレビ／AV接続ケーブルの片方の端子をカメラのAV出力端子に接続します。

※奥までしっかり差し込んでください。



3 テレビ／AV接続ケーブルの黄色いプラグをテレビの画像入力端子に、白いプラグをテレビの音声入力端子に接続します。

4 テレビの入力切換をビデオ入力に切り替えます。
（カメラの液晶モニターがオフします）

テレビに画像が表示されます。
カメラを再生モードにすると、動画および静止画をテレビ画面に表示します。
操作方法はカメラと同様です。

動画を見る P44 ・**静止画を見る** P46

5 終了するときはカメラの電源をオフにして、付属のテレビ／AV接続ケーブルを離します。

- 接続した際は、テレビ／AV接続ケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

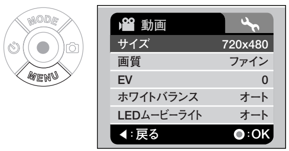
■ フォーマットする

モード：🔧

フォーマット（初期化）とはSDメモリーカードに画像及びデータを記録できるようにする作業のことです。

- 新しいSDメモリーカードや、他のカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**してから使用してください。
- フォーマット（初期化）するとSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

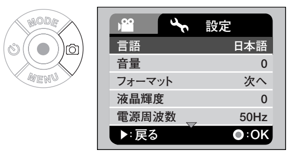
1



動画撮影／静止画撮影／再生モードからメニューボタンを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］［再生］メニューが表示されます。

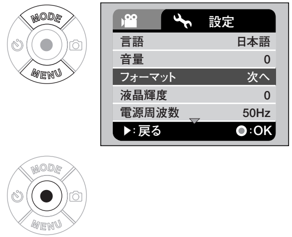
2



【▶】右ボタンを押します。

［設定］メニューが表示されます。

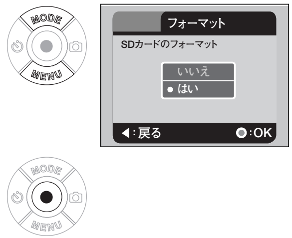
3



【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、

OKボタンを押します。

4



【▲】【▼】で［はい］を選び、

（キャンセルする場合は、［いいえ］を選びます）

OKボタンを押します。

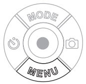
フォーマットが実行され、［設定］メニューに戻ります。

■ 初期設定に戻す

モード：（設定）

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

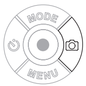




動画撮影／ 静止画撮影／ 再生モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]
[再生]メニューが表示されます。

2

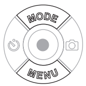




【▶】右ボタンを押します。

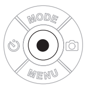
[設定]メニューが表示されます。

3



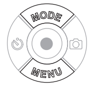


【▲】【▼】で [初期設定に戻す] を選び、



OKボタンを押します。

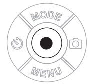
4





【▲】【▼】で [はい] を選び、

（キャンセルする場合は、
[いいえ] を選びます）



OKボタンを押します。

各種設定を初期設定に戻し、
[設定]メニューに戻ります。

各項目の初期設定

設定項目	初期設定
動画サイズ P70	720×480
画質 P71	ファイン
静止画サイズ P70	2560×1920
ホワイトバランス P73	オート
露出補正 P75	±0
オートパワーオフ P62	5分

表示言語、電波周波数（ヘルツ）、ビデオ出力の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

■ 表示言語を設定する

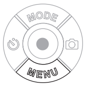
モード：

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
英語（English）
中国語（简体中文）

表示言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

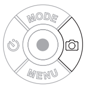




動画撮影／ 静止画撮影／ 再生モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]
[再生]メニューが表示されます。

2

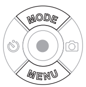




【▶】右ボタンを押します。

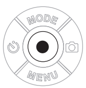
[設定]メニューが表示されます。

3



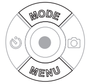


【▲】【▼】で [言語] を選び、



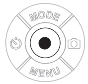
OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、



OKボタンを押します。

選んだ内容を保持し[設定]メニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P58 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ オートパワーオフの時間を設定する

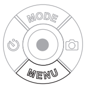
モード：

オートパワーオフの時間を設定できます。

オートパワーオフ機能について P28

オフ
1分
3分
5分 **初期設定**
10分

1

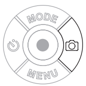




動画撮影／静止画撮影／再生モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影][再生]メニューが表示されます。

2

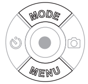




【▶】右ボタンを押します。

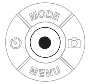
[設定]メニューが表示されます。

3



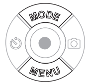


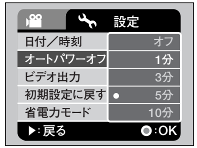
【▲】【▼】で[オートパワーオフ]を選び、



OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で[オフ]／[1分]／[3分]／ [5分]／ [10分]を選び、

OKボタンを押します。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと[5分]に戻ります。
- USB接続している場合や、**スライドショー再生** P82 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

■ 省電力モードを設定する　モード：

キー操作をしていないときに、液晶モニターをOFFにすることができます。

初期設定 いいえ

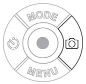
1



動画撮影／静止画撮影／▶▶再生モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]
[再生]メニューが表示されます。

2

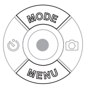




【▶】右ボタンを押します。

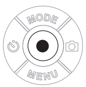
[設定]メニューが表示されます。

3



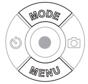


【▲】【▼】で[省電力モード]を選び、



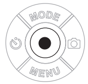
OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で[はい]を選び、



OKボタンを押します。

- ここで選んだ省電力モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと、省電力オフモードに戻ります。
- キー操作を行うと通常通り液晶モニターはオンになります。

■ 液晶輝度を設定する

モード：

液晶輝度を設定することができます。

初期設定 0

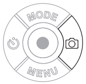
1



動画撮影／ 静止画撮影／ 再生モードからメニューボタンを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影][再生]メニューが表示されます。

2

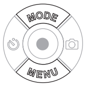




【▶】右ボタンを押します。

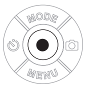
[設定]メニューが表示されます。

3



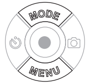


【▲】【▼】で [液晶輝度] を選び、



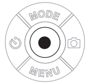
OKボタンを押します。

4





【▲】【▼】で−5〜+5の間で設定し、



OKボタンを押します。

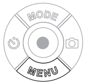
ここで選んだ液晶輝度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと[0]に戻ります。

■ 日付プリントを設定する

モード：

撮影した日付を静止画に印字する（初期設定 いいえ）ことができます。この設定は撮影前に行ってください。また、印字した日付は取り消すことができませんのでご注意ください。

1

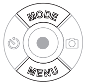


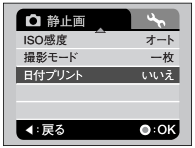


静止画撮影モードからメニューボタンを押します。

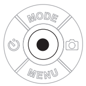
［静止画撮影］メニューが表示されます。

2



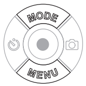


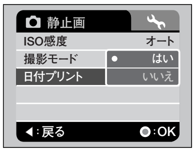
【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、



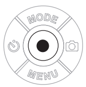
OKボタンを押します。

3





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKボタンを押します。

ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと［いいえ］に戻ります。

撮影（動画／静止画）について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード：

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

動画サイズ

撮影する動画サイズを設定します。サイズが大きいほど高画質ですが、容量も大きくなります。

- 720 720×480 初期設定
- 640 640×480
- 320 320×240

画質

撮影する画質を設定します。高画質なほど鮮明な画像となりますが、容量も大きくなります。

- ファイン 初期設定
- 標準
- エコノミー

静止画サイズ

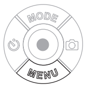
撮影する静止画サイズを設定します。

- 5m 2560×1920 初期設定
- 3m 2048×1536
- 1m 1280×960
- 0.3m 640×480

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと動画サイズは 720 [720×480] に、画質は ▦ [ファイン] に、静止画サイズは 5m [2560×1920] 戻ります。
- 各画像サイズ、画質での記録枚数については、**画像記録時間・枚数** P109 をご覧ください。

画像サイズを設定する場合

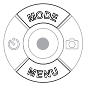
1





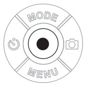
動画撮影／静止画撮影モードからメニューボタンを押します。
[動画撮影]／[静止画撮影]メニューが表示されます。

2



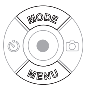


【▲】【▼】で [サイズ] を選び、



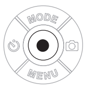
OKボタンを押します。

3





【▲】【▼】で [720×480]／ [640×480]／[320×240] を選び、

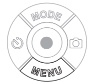


OKボタンを押します。

静止画撮影も静止画撮影モードにて上記同様に静止画サイズを選択し、設定します。

画質を設定する場合

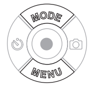
1





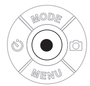
動画撮影／静止画撮影モードからメニューボタンを押します。
[動画撮影]／[静止画撮影]メニューが表示されます。

2



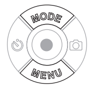


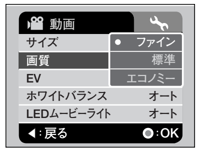
【▲】【▼】で [画質] を選び、



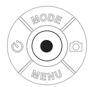
OKボタンを押します。

3





【▲】【▼】で [ファイン]／[標準]／[エコノミー] を選び、



OKボタンを押します。

静止画撮影も静止画撮影モードにて上記同様に画質を選択し、設定します。

画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、メモリーに記録できる撮影時間／枚数が少なくなります。

■ ホワイトバランスを設定する　モード：

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

オート：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**

太陽光：太陽光での撮影

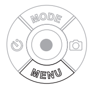
白熱灯：白熱灯下での撮影

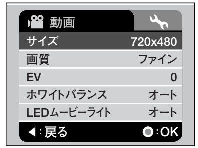
蛍光灯1：蛍光灯下での撮影

蛍光灯2：蛍光灯下での撮影

曇り：曇天での撮影

1

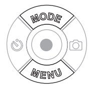




動画撮影／静止画撮影モードからメニューボタンを押します。

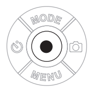
［動画撮影］／［静止画撮影］メニューが表示されます。

2



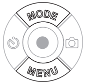


【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、



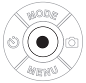
OKボタンを押します。

3





【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、



OKボタンを押します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P58 **操作を行うと[オート]に戻ります。**

■ 露出(明るさ)補正を設定する　モード：🎥 📷

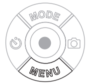
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出(明るさ)を補正することができます。

○設定できる露出補正の段階

（単位：EV(Exposure Value、露出量を表す単位)）：



1

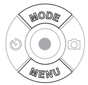




🎥動画撮影／📷静止画撮影モードからメニューボタンを押します。

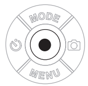
[動画撮影]／[静止画撮影]メニューが表示されます。

2



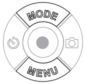


【▲】【▼】で[EV]を選び、



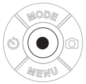
OKボタンを押します。

3





【▲】【▼】で露出補正の段階を選び、



OKボタンを押します。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと [0EV] に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード：動画 静止画

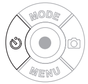
セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。

セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

2s **2秒**：シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されます。

10s **10秒**：シャッターボタンを押してから10秒後に撮影されます。

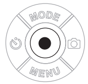
1





動画撮影／静止画撮影モードからセルフタイマーボタンを押して 2s [2秒]または 10s [10秒]を選びます。

2





液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めてシャッターボタンを押します。

セルフタイマーが作動し、設定した時間の経過後、撮影が開始されます（静止画撮影の場合は、シャッターが下ります）。

- セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、【▼】ボタンを押します。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、ズーム、ホワイトバランス、露出補正、近接モードなど）はセルフタイマー撮影時も有効です。
- セルフタイマーモードは、再度電源を入れ直したり、一度撮影が終わると解除されます。

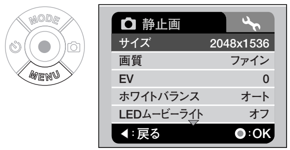
■ ISO感度を設定する　モード：

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

オート **初期設定**

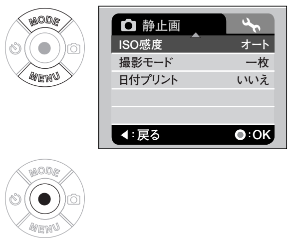
ISO50、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800

1



静止画撮影モードからメニューボタンを押します。
[静止画撮影] メニューが表示されます。

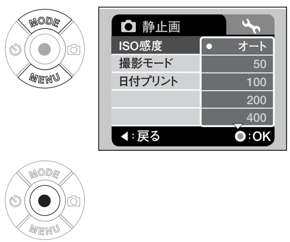
2



【▲】【▼】で [ISO感度] を選び、

OKボタンを押します。

3



【▲】【▼】で [オート] ／ [50]／[100]／[200]／[400]／[800] を選び、

OKボタンを押します。

ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと [オート] に戻ります。

■ 撮影モードの設定をする（連写撮影）　モード：

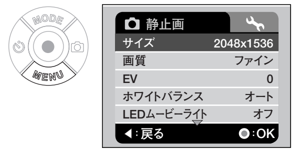
撮影モードを選択します。

一枚：一枚撮影します。 **初期設定**

連写：シャッターを押すと連続して三枚撮影します。

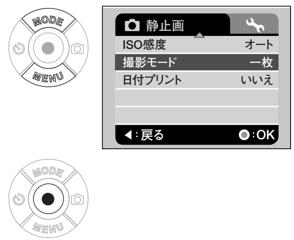
AE連写：シャッターを押すと連続して三枚撮影します。
（自動的に三枚の露出値を変えて、連続撮影します）

1



静止画撮影モードからメニューボタンを押します。
[静止画撮影] メニューが表示されます。

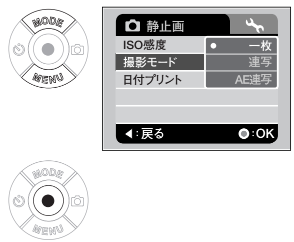
2



【▲】【▼】で [撮影モード]を選び、

OKボタンを押します。

3



【▲】【▼】で [一枚] ／ [連写]／[AE連写] を選び、

OKボタンを押します。

ここで選んだ撮影モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P58 操作を行うと [一枚] に戻ります。

再生（動画／静止画）について

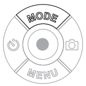
■ 画像保護を設定する

モード：

誤操作による画像の削除などを防止するために、画像ファイルに保護を設定することができます。

- 保護を設定した画像は削除できません。削除したい場合は、保護設定を解除してください。
- 保護を設定した画像は、画像の削除時は有効ですが、**フォーマットする** P56 操作を行うと削除されます。
- 保護を設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ P26 を、「LOCK」側にすると画像の削除はできません。

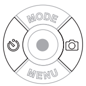
1

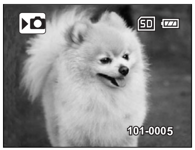




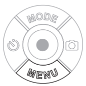
モード切換ボタンを押して再生モードに切り替えます。

2





【◀】【▶】で保護するファイルを選び、

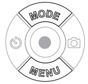




メニューボタンを押します。

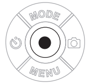
［再生］メニューが表示されます。

3



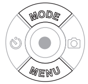


【▲】【▼】で［保護］を選び、



OKボタンを押します。

4





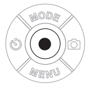


【▲】【▼】で［一枚］／［選択］／［すべて］を選び、

［一枚］：表示中のファイルを保護します。

［選択］：サムネイル表示中、ズームインボタンを押して選択したファイルを保護します。

［すべて］：すべてのファイルを保護します。



OKボタンを押します。

保護が設定され、［再生］メニューに戻ります。

保護されたファイルには液晶モニターに ロックアイコンが表示されます。



保護されたファイルに再度、保護を設定しますと、解除されます。

■ スライドショー再生をする　モード：▶🎥 ▶📷

メモリー内にあるすべての画像を一定の間隔（5秒 **初期設定** ／7秒／9秒）でスライドショー再生することができます。

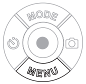
1

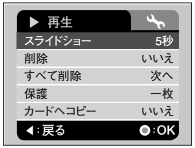




モード切換ボタンを押して▶🎥 ▶📷 再生モードに切り替えます。

2

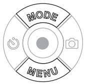


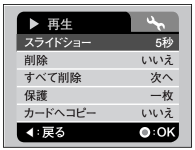


メニューボタンを押します。

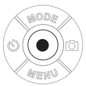
［再生］メニューが表示されます。

3



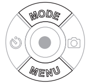


【▲】【▼】で［スライドショー］を選び、



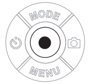
OKボタンを押します。

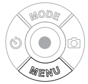
4





【▲】【▼】で［5秒］／［7秒］／［9秒］を選び、





OKボタンを押します。

選んだ表示間隔でスライドショーが開始されます。

再生中、メニューボタンを押すと、スライドショーを終了します。

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

モード：▶🎥 ▶📷

内蔵メモリー（64MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。
SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

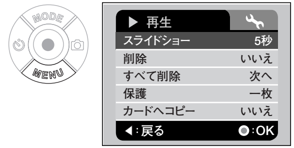
- 本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
  電池残量が ▭ の場合は、**電池を交換してから本操作を行うことをおすすめします。**
- 本操作を行うと、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1



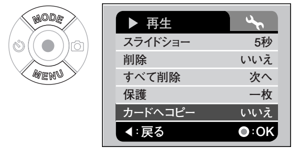
モード切換ボタンを押して▶🎥 ▶📷 再生モードに切り替えます。

2

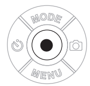


メニューボタンを押します。
[再生] メニューが表示されます。

3

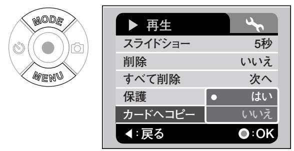


【▲】【▼】で [カードへコピー] を選び、

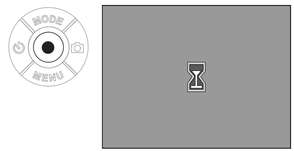


OKボタンを押します。

4



【▲】【▼】で [はい] を選び、
（キャンセルする場合は、
[いいえ] を選びます）



OKボタンを押します。
内蔵メモリーに格納されたファイルがSDメモリーカードにコピーされます。
コピー中は ⌛ マークが表示されます。
コピー終了しましたら、メニュー設定画面に戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

OS: Microsoft Windows 2000/XP日本語版
インターフェース: インターフェースUSB

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。
- Mac OSには対応しておりません。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、カメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、カメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P89

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 ［マイコンピュータ］または［コンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（=カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。 P91

↓

3 カメラを取り外す P93

1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- 液晶モニターに画像は表示されません。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P28 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されまが、カメラ本体の電源ON時にはアルカリ乾電池(2本)が必要です。
- コピー（通信）中はUSB-PC接続ケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P93 に従って操作してください。

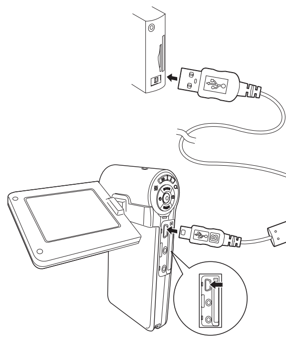
1 パソコンの電源を入れてUSB-PC接続ケーブルを接続します。

2 カメラの電源をオンにします。

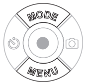
ON/OFFとも電源ボタンを約1秒強く押してください。

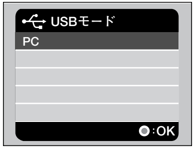
3 カメラのUSB接続端子に、付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。

液晶モニターにUSBモードが表示されます。

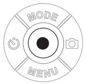


4





【▲】【▼】で [PC] を選び、



OKボタンを押します。

自動的にカメラの液晶モニターはオフになります。

2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

1 Windowsのデスクトップより［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

2 リムーバブルディスクのアイコンが確認できます。

3 ［リムーバブルディスク］→［DCIM］→［100HCAM］フォルダの順に開くと、撮影したファイルを確認することができます。

4 コンピュータへドラッグ＆ドロップでコピーします。

不要なファイルは削除することができますが、カメラ内のデータが削除されますのでご注意ください。

- ［リムーバブルディスク］内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- ［リムーバブルディスク］内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- ［リムーバブルディスク］をパソコンでフォーマットしないでください。
- ［DCIM］フォルダにあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が削除されてしまいますのでご注意ください。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー（通信）中はUSB-PC接続ケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P56 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。
上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：

XXX_HCAM

フォルダの通し番号（100～999）

ファイル名について：

HMPGYYYY.ASF（動画ファイル）
HIMGYYYY.JPG（静止画ファイル）

ファイルの通し番号（0001～9999）

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。
- 内蔵メモリーのファイルをSDカードにコピーした場合など、フォルダNo.が一つあがる場合があります。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USB-PC接続ケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

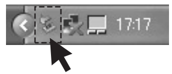
1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

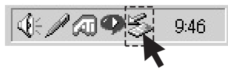


タスクバー

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します



〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (J:) を停止します



［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

（Windows XPでは [OK] のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

4 パソコンでの動画再生について

- Windows Vista、Mac OSはサポートしておりません。
- HSC-S1の動画をパソコンで再生するには、Windows Media Playerバージョン9以上が必要です。
  ※お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンを確認するにはWindows Media Playerの「ヘルプメニュー」の「バージョン情報」にてご確認ください。
- Windows Media Playerのバージョン9未満の場合は、マイクロソフトホームページよりバージョンアップをお願いします。

付録

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。 P22
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P22
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにする。
	●電源ボタンを軽く押している。	→約1秒強く押す。
	●電源ボタンを押しっぱなしにしている。	→約1秒強く押し、指を離してください。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ムービーライト撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。	—

症状	原因	処置
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。 P62
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P22
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P22

動画・静止画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→モード切換ボタンを押して、撮影モードに切り替える。 P16
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。 P27
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所へ移動して撮影する。
撮影できない	●動画撮影時、静止画撮影モードになっている。	→モード切換ボタンを押して、動画撮影モードに切り替える。 P16
	●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。	→モード切換ボタンを押して、静止画撮影モードに切り替える。 P16
	●動画撮影時、再生モードになっている。	→モード切換ボタンを押して、動画撮影モードに切り替える。 P16
	●静止画撮影時、再生モードになっている。	→モード切換ボタンを押して、静止画撮影モードに切り替える。 P16

症状	原因	処置
撮影できない。	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P62
	●メモリー残量がない。	→画像サイズを小さくする。P70 →SDメモリーカード内の画像を削除する P49 か、別のSDメモリーカードと交換する P25 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに カード保護 が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P26
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●近接モードで遠景を撮影している。	→標準モード（約100cm〜）に切り替える。P42
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（近接時：約60cm〜約100cm、標準時：約100cm〜）で撮影する。P42
	●レンズが汚れている。	→レンズを清掃する。
	●画像ブレ・手ぶれ	→しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。

症状	原因	処置
画像にしまがはいる。	●電源周波数（ヘルツ）が影響している。	→電源周波数（ヘルツ）を合わせる。P29
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→SDメモリーカード内の画像を削除する P49 か、別のSDメモリーカードと交換する P25 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している	→新しい電池と交換する。P22

動画／静止画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→モード切換ボタンを押して、再生モードに切り替える。P16
	●他のカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—
TVの再生で画像が出てこない。	●専用のテレビ／AV接続ケーブルを奥まで差し込んでいない。	→奥まで差し込んでください。
音がイヤホンから聞こえてこない。	●音量の設定が0になっている。	→音量の設定をしてください。P33
	●イヤホン端子を奥まで差し込んでいない。	→奥まで差し込んでください。

画像を削除する

症状	原因	処置
削除できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P26
誤って削除してしまった。	●一度削除したファイルは元に戻せません。	—

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されないなど）	●付属のUSB-PC接続ケーブルを使用していない。	→付属のUSB-PC接続ケーブルを使う。
	●USB-PC接続ケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P89 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USB-PC接続ケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P89 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは P93 に従って操作する。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語（Language）]が[English]なっている。	→[表示言語]を[日本語]に切り替える。P60
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P22
	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P25 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。P25 →お買い上げの販売店へご相談ください。
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P62
	●省電力モードがオンになっている。	→いずれかの操作ボタンを押す。

警告表示など

表示	原因	処置
（カード保護アイコン）[撮影時]	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P26
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

付録

故障とお考えになる前に

■ メニューと設定項目

【　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
動画／静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	動画 P69	【720×480】ピクセル（25fps） 640×480ピクセル（25fps） 320×240ピクセル（25fps）
			静止画 P69	【2560×1920】ピクセル 2048×1536ピクセル 1280×960ピクセル 640×480ピクセル
		画質	P69	【ファイン】／標準／エコノミー
		露出補正（EV）	P75	-1.8 ● • • ● • • 【0】● • • ● • • ● +1.8
		ホワイトバランス	P73	【オート】／太陽光／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／曇り
		セルフタイマー	P77	【オフ】／2秒／10秒
		LEDムービーライト	P40	【オート】／オン／オフ※
静止画撮影モードのみ	撮影メニュー	ISO感度	P78	【オート】／50／100／200／400／800
		撮影モード	P79	【一枚】／連写／AE連写
		日付プリント	P68	はい／【いいえ】
再生モード	再生メニュー	スライドショー	P82	スライドショー再生を開始します。
		削除	P49	画像を削除します。
		すべて削除	P51	すべての画像を削除します。
		保護	P80	画像保護を設定します。
		カードへコピー	P84	内蔵メモリーのデータをSDメモリーカードへコピーします。

※LEDムービーライトは静止画モードでは、オートモードはありません。

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
セットアップモード	設定メニュー	表示言語	P60	【日本語】／ENGLISH（英語）／簡体中文（中国語）
		音量	P33	【0】～5
		フォーマット	P56	内蔵メモリー／SDメモリーカードをフォーマットします。
		液晶輝度	P66	−5～【0】～+5
		電源周波数	P29	【50Hz】／60Hz
		日付/時刻	P31	日付/時刻の設定画面を表示します。
		オートパワーオフ	P62	オフ／1分／3分／【5分】／10分
		ビデオ出力	P52	【NTSC】／PAL
		初期設定に戻す	P58	各設定内容を初期設定に戻します。
		省電力モード	P64	はい／【いいえ】

■ 仕様

項目		内容
有効画素数		約500万画素
撮像素子		1/2.5インチCMOSイメージセンサー（総画素数：約503万画素）
記録媒体		内蔵64MBフラッシュメモリー、SDメモリーカード（64/128/256/512MB/1/2/4GB（SDHC）対応）（※1）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.1、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	2560×1920ピクセル／2048×1536ピクセル／1280×960ピクセル／640×480ピクセル
	JPEG圧縮率	ファイン／標準／エコノミー
動画	記録画像ファイルフォーマット	MPEG4（音声あり、スピーカーあり）
	記録画素数	720×480ピクセル／640×480ピクセル／320×240ピクセル
	フレームレート	約25フレーム/秒
	MPEG4圧縮率	ファイン／標準／エコノミー
レンズ	焦点距離	100cm～
	F値（最大値）	3.1
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタルズーム：8倍
液晶モニター		2.36型TFTカラー液晶、約11.5万画素（480×240ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約100cm～、近接：約60cm～約100cm
シャッター		電子シャッター、2～1/2000秒
撮像感度（ISO）		オート／ISO50／100／200／400／800相当
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	－1.8EV～＋1.8EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス		オート／プリセット（太陽光／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／曇り）
ムービーライト		LEDライト（オート／オン／オフ）
セルフタイマー		オフ／2秒／10秒
撮影モード		動画撮影／静止画（シングル撮影、連写撮影（3枚）、AE連写撮影（3枚））
再生モード		動画再生、静止画再生（1倍～8倍）、サムネイル表示（6分割）、スライドショー再生
オートパワーオフ		オフ／1分／3分／5分／10分
インターフェース		USB端子（USB（2.0仕様）、AV出力（NTSC／PAL）
電源		単3形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））
外形寸法		幅30.0×奥行59.0×高さ106.0mm（突起部含む）
質量		約130g（電池、SDカード除く）

（※1）（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。

画像記録時間・枚数（※2）

動画サイズ	画質	内蔵メモリー	SDメモリーカードの容量 128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
720×480	ファイン	1分44秒	3分32秒	7分7秒	14分17秒	28分38秒	57分18秒	1時間54分36秒
	標準	2分8秒	4分21秒	8分44秒	17分32秒	35分8秒	1時間10分20秒	2時間20分40秒
	エコノミー	2分59秒	6分5秒	12分13秒	24分32秒	49分7秒	1時間38分19秒	3時間16分38秒
640×480	ファイン	1分57秒	3分59秒	8分1秒	16分5秒	32分12秒	1時間4分28秒	2時間8分56秒
	標準	2分24秒	4分53秒	9分50秒	19分44秒	39分32秒	1時間19分7秒	2時間38分14秒
	エコノミー	3分21秒	6分50秒	13分45秒	27分36秒	55分16秒	1時間50分37秒	3時間41分14秒
320×240	ファイン	7分50秒	15分57秒	32分4秒	1時間4分20秒	2時間8分51秒	4時間17分53秒	8時間35分46秒
	標準	9分36秒	19分35秒	39分22秒	1時間18分58秒	2時間38分8秒	5時間16分30秒	10時間33分
	エコノミー	13分26秒	27分23秒	55分2秒	1時間50分24秒	3時間41分4秒	7時間22分28秒	14時間44分56秒

静止画サイズ	画質	内蔵メモリー	SDメモリーカードの容量 128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
2560×1920（500万画素）	ファイン	27	56	114	229	461	923	1846
	標準	34	71	143	289	579	1160	2320
	エコノミー	43	89	180	361	724	1451	2902
2048×1536（300万画素）	ファイン	45	92	186	375	751	1504	3008
	標準	56	115	233	468	939	1881	3762
	エコノミー	68	139	280	562	1127	2257	4514
1280×960（120万画素）	ファイン	102	209	420	844	1691		
	標準	118	241	485	974	1952		
	エコノミー	122	251	505	1013	2030		
640×480（VGA）	ファイン	146	298	601	1206	2416		
	標準	205	418	842	1689	3383		
	エコノミー	256	523	1052	2112	4230		

（※2）画像記録時間・枚数はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※3）

使用電池	連続撮影時間（LEDムービーライト オン状態）	静止画
単3形アルカリ乾電池（付属）	約60分	約250枚（※4）

（※3）気温が低い場所では、使用できる時間は短くなります。
表の記載時間は参考値で、実際の撮影条件によって変わります。
実撮影時間は、上記記載時間より短くなります（約半分程度）。

（※4）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
- 30秒間隔でムービーライトを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

■ 索引

家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
(受付時間)9:00〜19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
(受付時間)9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/